学校番号	309

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	異文化間コミュニケーション	3	3	What A World Reading 2

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語を使って、世界中のあらゆる歴史的・文化的なトピックについて学習していきます。読む力・聞く力を中心にして英語の４技能と考える力を高めていくことが目標です。テキストの内容を理解し、自ら調べ、考えたことを共有することで異文化理解をさらに深めていってください。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	①少し長いモノローグ（レクチャーなど）やダイアローグを聴いて、内容を的確に把握し、質問に答えることができる。 ②少し長モノローグやダイアローグを聴く時、その話の展開を推測しながらリスニングをして趣旨を把握し、的確に答えることができる。	①80wpm のペースを維持して文章を読み切ることができる。 ②パラグラフリーディングを行って全ての段落の要点を抑えることができる。 ③スキミングを行って文章全体の内容を把握することができる。 ④与えられた問いに対して①～③の技能を駆使して適切に解答することができる。	①与えられたテーマに対する簡単な説明を、行うことができる。 ②与えられたテーマに対する自分の意見を順接､逆説､列挙や例の提示等を表す接続表現を用いながら 2 分間話すことができる。 ③自他の意見に対して､内容を理解し質問や応答ができる｡スピーキングテスト･プレゼンテーションを実施しても評価する予定。	①テキストの内容を理解し、与えられたテーマについて自ら調べ、考えたことを共有することができる。 ②英語の音声を意識しながら音読や与えられた条件下で発表し、質疑応答(受け答え)することができる。	①与えられた条件に沿った文章を、導入､本論､結論の構成を意識して 100 語程度で書くことができる。 ②与えられたテーマに対する自分の意見を、導入、本論、結論、の構成を意識して100語程度で書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各テーマにおいて学んだ語彙や、重要表現、意見を伝えるための論述形式などを理解する。また歴史的・文化的背景などの情報を自ら収集し、知識・教養として吸収している。①定期考査　②実技試験　②課題　③言語活動　の理解度･取組状況において評価	各テーマにおいて学んだ語彙･重要表現や得たて歴史的･文化的背景情報を駆使して､内容を把握･要約することができ、また内容に関する自分の考えを論理的に表現することができる。①定期考査　②実技試験　②課題　③言語活動　の理解度・取組状況において評価	授業や課題･定期考査や実技試験において、能動的・積極的に取り組み、各テーマにおける興味・関心を示し、自ら問題解決しようとする姿勢を持つ。 ②課題　③言語活動　の理解度･取組状況において評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	UNIT 1 ～ 4 発明・美・宗教・社会階級	聞くこと	a: 音声や相手の発話（レクチャー）を理解しやすいスピードで一度聞いて概要を把握できる。積極的に耳を傾ける能動的な姿勢がある。 b: 音声を聞いて、又は相手の発話の不確かな部分を適宜聞き直すことで、詳細を理解することができる。 c: 本単元の重要語彙や表現を音で捉え理解することができる。:	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
		読むこと	a: 本文内容の要点をおさえながら、読んだ内容の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 関連する記事などの投げ込み教材に興味を持ち、意欲的に読むことができる。本単元の題材を知識として吸収している。 c: 本単元の題材をよく理解し、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
		話すこと （やり取り）	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現し、他者の意見も理解・尊重したうえで議論できる c: プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし、言いたいことを効果的に相手に伝えることができる。	②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
		書くこと	a 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書くことができる。:	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
	中間考査			
	UNIT 5 ～ 9 冒険・医療・古代文明	聞くこと	a: 音声や相手の発話(レクチャー)を自然なスピードで一度聞いて概要を把握できる。積極的に耳を傾ける能動的な姿勢がある。 b: 音声を聞いて、又は相手の発話の不確かな部分を適宜聞き直すことで、詳細を理解することができる。 c: 本単元の重要語彙や表現を音で捉え理解することができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
		読むこと	a: 本文内容の要点をおさえながら、読んだ内容の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 関連する記事などの投げ込み教材に興味を持ち、自ら探した関連記事なども意欲的に読むことができる。本単元の題材を知識として吸収している。 c: 本単元の題材をよく理解し、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		話すこと （発表）	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、全体の場で発表することができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解したうえで、テーマに即した発表内容を準備することができる。 c: プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし、言いたいことを効果的に相手に伝えることができる。	②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書くことができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
	期末考査			
2	UNIT 10 ～ 14 気候・儀式・スポーツ・家具飛	聞くこと	a: 音声や相手の発話(レクチャー)を自然なスピードで一度聞いて概要を把握できる。積極的に耳を傾ける能動的な姿勢がある。 b: 音声を聞いて、又は相手の発話の不確かな部分を適宜聞き直すことで、詳細を理解することができる。 c: 本単元の重要語彙や表現を音で捉え理解することができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組

	医療・古代文明	読むこと	a: 本文内容の要点をおさえながら、読んだ内容の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 関連する記事などの投げ込み教材に興味を持ち、自ら探した関連記事なども意欲的に読むことができる。本単元の題材を知識として吸収している。 c: 本単元の題材をよく理解し、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
		話すこと（やり取り）	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現し、他者の意見も理解・尊重したうえで議論できる c: プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし、言いたいことを効果的に相手に伝えることができる。	②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書くことができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
	中間考査			
	UNIT 15 ～ 18 気候・儀式・スポーツ・家具飛医療・古代文明	聞くこと	a: 音声や相手の発話(レクチャー)を自然なスピードで一度聞いて概要を把握できる。積極的に耳を傾ける能動的な姿勢がある。 b: 音声を聞いて、又は相手の発話の不確かな部分を適宜聞き直すことで、詳細を理解することができる。 c: 本単元の重要語彙や表現を音で捉え理解することができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
		読むこと	a:: 本文内容の要点をおさえながら、読んだ内容の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 関連する記事などの投げ込み教材に興味を持ち、t 核的な視野を持ったうえで自ら探した関連記事なども意欲的に読むことができる。本単元の題材を知識として吸収している。 c: 本単元の題材をよく理解し、自分の意見を持つことができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
		話すこと（発表）	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、全体の場で発表することができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解したうえで、テーマに即した発表内容を準備することができる。 c: プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし、言いたいことを効果的に相手に伝えることができる。	②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書くことができる。	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
	期末考査			
3	自由テーマ	聞くこと	a: 音声や相手の発話(レクチャー)を自然なスピードで一度聞いて概要を把握できる。積極的に耳を傾ける能動的な姿勢がある。 b: 音声を聞いて、又は相手の発話の不確かな部分を適宜聞き直すことで、詳細を理解することができる。 c: 本単元の重要語彙や表現を音で捉え理解することができる。:	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		読むこと	a 本文内容の要点をおさえながら、読んだ内容の要旨をまとめることができる。本単元の重要語彙や表現について理解している。 b: 関連する記事などの投げ込み教材に興味を持ち、多角的な視野を持ったうえで自ら探した関連記事なども意欲的に読むことができる。本単元の題材を知識として吸収している。 c: 本単元の題材をよく理解し、自分の意見を持つことができる。:	①定期考査 ②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度・取組 ④課題への取組
		話すこと（やり取り）	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。	

			b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現し、他者の意見も理解・尊重したうえで議論できる c: プレゼンテーション・議論・討論などに必要なスキルを、適宜場面に応じて使いこなし、言いたいことを効果的に相手に伝えることができる。	
		書くこと	a: 新しい語彙や重要表現を適宜場面に応じて効果的に使いながら、本単元の題材で得た情報を自分の言葉で論理的にまとめ、相手に伝えることができる。 b: 本単元の題材について内容を深く理解し、自分の意見を積極的に表現・議論できる c: エッセイライティングの手法に則り論理を展開し、説得力のある文章を書くことができる。	②実技試験の取組 ③授業中の言語活動の理解度･取組 ④課題への取組
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度